令和５年度　社会科　２年地理　年間指導計画・評価計画

＜１＞ 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

＜２＞ 地理的分野の目標

(1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して，地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

(3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

＜３＞ 評価の観点及びその趣旨

知識・技能	我が国の国土及び世界の諸地域に関して，地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の地域に関わる諸事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

＜４＞ 観点別評価の評価基準と評定

観点別評価基準	A	十分に満足できる状況である。（８０％以上）
	B	おおむね満足できる状況である。（５０％以上）
	C	努力を要する状況である。（５０％未満）

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。（９０％以上）
	4	十分満足できる状況である。（８０％以上）
	3	おおむね満足できる状況である。（５０％以上）
	2	努力を要する状況である。（５０％未満）
	1	一層努力を要する状況である。（２０％未満）

＜５＞ 指導上の配慮事項

①思考力・判断力・表現力の育成。→生徒の言語活動を充実させる指導。

②自主的・自発的な学習の促進。 →体験的な学習や問題解決的な学習。　発展的な学習

③学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習。

④個に応じた指導の充実。→　個別指導　グループ別指導　繰り返し指導　課題学習　補充的な学習

社会科　２学年　地理的分野　年間指導計画・評価計画

【評価の観点】知識・技能＝知技，思考・判断・表現＝思判表，主体的に学習に取り組む態度＝態度

月	主な学習内容	学習目標	評価規準の例
	1　調査の準備 身近な地域の情報を集めよう 調査するテーマを話し合おう 仮説と調査計画を立てよう	・身近な地域の情報を集めて，それを基に適切な調査テーマを設定する。 ・身近な地域の調査テーマに基づいて，見通しをもって調査方法・調査計画を立て，主体的に追究する。	・身近な地域の特色に着目して，適切な調査テーマを設定している。 **（思判表）** ・身近な地域の特色や課題を予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。**（態度）**
	地形図の読み取り方①	・地形図について，縮尺，方位，等高 ・地図記号などに着目して，地域の土地利用や地形を大観する。	・縮尺，方位，等高線，地図記号など地形図の基本的な読み取り方を理解し，地理的技能を身に付けている。**（知技）** ・地形図から身近な地域の特色を読み取り，理解している。**（知技）**
	地形図の読み取り方② **デジタル地図の使い方，** **地形図の読み取り方③**	・空中写真やデジタル地図などを使って，地域の特徴を捉える。 ・新旧の地形図を比較して地域の変化を読み取る。	・空中写真やデジタル地図，新旧地図を比較して，地域の様子や変化の読み取り方を理解し，地理的技能を身に付けている。**（知技）** ・さまざまな資料から，身近な地域の特色や変化を捉えている。**（知技）**
	2　野外観察・聞き取り調査 野外観察をしよう 聞き取り調査をしよう	・野外観察や聞き取り調査を通して，地域調査の手法を理解するとともに，地域の特色を捉える。	・野外調査や聞き取り調査の視点や方法を理解し，地理的技能を身に付けている。**（知技）** ・野外調査を通して地域的特色や課題を理解している。**（知技）**
	3　資料を使った調査 文献や統計などを集めよう さまざまな資料で調査を深めよう	・調査テーマに対して文献，統計，地図，写真などの資料を収集する方法を理解するとともに，地域の特色を捉える。	・さまざまな資料から有用な情報を選択して，地域の特色などを読み取るなどの地理的技能を身に付けている。**（知技）**
	4　調査のまとめ 地図や図表で表そう 分かったことをまとめよう	・収集した資料を，調査目的や用途に適した地図や図表として適切にまとめる。 ・まとめられた資料を基に，身近な地域の調査テーマに対して多面的・多角的に考察する。	・観察や野外調査，文献調査を行う際の視点や方法を踏まえた地理的なまとめ方の基礎を理解している。 **（知技）** ・地域調査において，対象となる場所の特徴などに着目して，適切な主題や調査，まとめとなるように，調査

			の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現している。（**思判表**）
	5　調査結果の発表 発表の原稿や資料を準備しよう 分かりやすい発表をしよう ほかの発表から学び合おう	・調査の動機と目的，調査方法と調査結果など，これまで学習してきた成果を分かりやすく発表する。 ・他のグループの発表を通して新たな情報を収集し，調査テーマを主体的に追究する。	・地域調査の手法について，単元冒頭で立てた予測をはじめとして，自らの学習を振り返りながら粘り強く考察することを通して，主体的に調査テーマを追究し，社会に関わろうという態度を示している。（**態度**）
	■導入の活動　日本がどのような国かイメージしよう	・日本のさまざまな地域的特色を，地域と分布に着目しながら，大きく捉える。 ・日本全体の地域的特色を理解するために，「日本には，なぜさまざまな地域的特色があるのでしょうか」という探究課題を立て，見通しをもって主体的に追究する。	・日本の特色に関して集めた資料を使って関連図を作成し，日本にはさまざまな地域的特色があることを理解している。（**知技**） ・日本の地域的特色に関して設定した探究課題の答えを予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。（**態度**）
	1　地形から見た日本の特色 地震の震源や火山が連なる地域 険しい日本の山地 急で短い日本の川 さまざまな地形が見られる平地 変化に富む日本の海岸 海洋国・日本	・日本は変動帯に属して，地震や火山の多い不安定な大地上に位置していること，フォッサマグナを境にして，山脈の走る方向が違うことなどを資料から読み取る。 ・日本の川は，大陸と比べて急で短く，洪水を引き起こしやすいため，上流ではダムが建設されている地域が多いことを理解する。 ・日本には，河川などに運ばれた土砂で形成された規模の小さな平野が臨海部に，また山に囲まれた地域には盆地などが各地に分布していることを分布図などから読み取る。 ・日本の国土は海に囲まれ，多くの島々から構成されるとともに多様な海岸が見られること，近海には海底に大陸棚が広がり，寒暖の海流が出合い世界的な漁場となっていることを理解する。 ・日本の地域的特色を，山地・山脈，河川，平地，海，災害などの分布に着目して，これらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現する。	・日本の自然環境に関する特色を主題図や分布図から適切に読み取り，日本の山地・山脈，川，平地，海岸の分布や特色，海洋に囲まれた国土の特色について理解している。（**知技**） ・日本の地域的特色を，山地・山脈，河川，平地，海などに着目して，これらを関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。（**思判表**）

	2　気候から見た日本の特色 日本が属する温帯 地域によって異なる日本の気候	・日本の多くの地域は温帯に属し，降水量も多く，森林，樹木が成長しやすい環境にあることを雨温図や景観写真などから読み取る。 ・日本列島にはなぜ六つの気候が存在するのかを，日本の山地，山脈の分布等に着目して考察する。	・日本の気候の特色を景観写真や雨温図，気候区分図から読み取り，日本の気候の特色を理解している。**（知技）** ・日本列島が六つの気候帯に大きく区分できる理由について日本の山地・山脈の分布や細長い地形などに着目して多面的に考察している。**（思判表）**
	3　自然災害と防災･減災への取り組み さまざまな自然災害 被災地へのさまざまな支援 防災対策と防災意識	・日本は大規模な地震や津波，台風など多様な自然災害が発生しやすい地域が多く，早くから，防災設備の充実，ハザードマップの作製など防災，減災対策に努めてきたことに気付く。 ・国や地方公共団体の諸機関や担当部局，地域の人々やボランティアが連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを読み取り，日本の防災対策を理解する。	・諸資料から，日本の多様な自然災害と防災への取り組みなどに着目し，日本は自然災害が発生しやすい地域が多く，その分防災・減災対策に努めていることを理解している。**（知技）** ・さまざまな人々が連携して地域の人々の生命や安全の確保のために活動していることを理解している。 **（知技）**
	4　人口から見た日本の特色 人口構成や分布の変化 過密地域と過疎地域	・人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化，人口分布に着目して，少子高齢化，過疎，過密といった日本の課題を読み取る。 ・過疎，過密地域の抱える課題について多面的・多角的に考察する。	・人口の移り変わりを示す資料や人口ピラミッドの変化などの資料から，少子高齢化の実態を，国内の人口分布を示す資料を通して過疎・過密問題の実態を読み取り，日本の人口に関する課題を理解している。**（知技）** ・過疎，過密地域が抱える課題について，多面的・多角的に考察している。 **（思判表）**
	5　資源･エネルギーから見た日本の特色 かたよる鉱産資源の分布 資源輸入大国・日本 日本の発電方法の変化 資源の活用と環境への配慮	・日本のエネルギー自給率や発電量の内訳を示す資料などから，日本の抱えている課題とその対策について多面的・多角的に理解する。 ・環境，エネルギー問題に対処するために，再生可能エネルギーの開発やリサイクルなどの努力をしていることを理解する。	・日本の資源・エネルギー利用の現状や日本の発電方法に着目して，日本の課題について多面的・多角的に考察している。**（思判表）** ・日本の抱える環境，エネルギー問題に対処するために，再生可能エネルギーの開発やリサイクルなどの努力をしていることを理解している。 **（知技）**
	6　産業から見た日本の特色 活性化を図る農林水産業 地域的な広がりを見せる工	・日本の農業，工業が抱える課題について食料自給率や主な工業地帯，地域の分布図から読み取る。 ・日本の第三次産業の盛んな地域につい	・日本の食料自給率が低下していること，産業の空洞化が起きていることなどを諸資料から読み取り，知識を得ている。**（知技）**

	業 大都市圏に集中する商業・サービス業	て，その背景を考察する。	・日本の第三次産業が盛んな地域について，その理由を考察している。 **（思判表）**
	7　交通･通信から見た日本の特色 使い分けられる交通 発達する日本の交通網 情報通信網の発達と生活の変化	・輸送手段に違いが見られる原因を，輸送距離，時間，地域性などに着目して考察する。 ・新幹線，高速道路，航路，航空路網，情報通信網などの整備が進んでおり，日本は海外と空や海の交通網，通信網が集中する拠点の一つに数えられていることを理解する。	・日本で輸送手段に違いが見られる原因を，輸送距離，時間，地域性などに着目して多面的・多角的に考察している。**（思判表）** ・日本の交通網の整備が進んでおり，世界的な拠点の一つになっていることを理解している。**（知技）**
	8　日本を地域区分しよう	・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分の事例を学び，地域区分をする技能を身に付ける。 ①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現する。	・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に，地域区分をする技能を身に付けている。**（知技）** ・①自然環境，②人口，③資源・エネルギーと産業，④交通・通信について，それぞれの地域区分を，地域の共通点や差異，分布などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。**（思判表）**
	1　九州地方をながめて 火山活動に由来する地形 温暖で多雨の気候	・九州地方について，地形図や雨温図，分布図などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・九州地方の地域的特色を理解するために，「九州地方では，なぜ自然環境の影響が大きい中で，産業や生活・文化が発達してきたのでしょうか」という探究課題を立て，見通しをもって意欲的に追究する。	・火山活動に由来する地形や温暖で多雨の気候からなる自然，盛んな農業，北部の平野に多い人口などの特色を理解している。**（知技）** ・自然環境を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。**（態度）**
	2　自然環境に適応する人々の工夫 火山とともに暮らす人々 風雨とともに暮らす人々	・九州地方に多い火山の噴火による被害とその対策に着目し，人々が火山とともに生活していることを理解する。 ・九州地方に多い豪雨による土砂崩れと水害について，自然環境の特色と関連付けて考察する。	・桜島の火山噴火にともなう自然災害の実情や災害報道，人々が行う火山灰対策を理解している。**（知技）** ・九州地方の風雨にともなう自然災害を，土地や気候といった自然環境の特色と関連付けて考察している。 **（思判表）**
	3　自然の制約の克服と利用 火山のめぐみ 気候と地形に応じた農業 自然を生かした沖縄の観光	・九州地方に多い火山に着目し，災害を与える一方で恵みももたらしていることを理解する。 ・九州地方で盛んな農業や観光業に関する具体的な資料を通して，産業が各地	・大分県が火山の恵みを，温泉地や地熱発電所に利用してきたことを理解している。**（知技）** ・九州地方の農業は南北で大きく異なること，沖縄県では美しい自然環境

		の自然条件に応じて発達してきたことを理解する。	を生かした観光業が盛んであることを，それぞれの自然条件や課題と結び付けて捉えている。（**知技**）
	4　持続可能な社会をつくる 工業化による地域の課題 水俣病と克服への取り組み 環境と開発の両立	・九州地方の工業の発展で起きた環境問題とその対策の過程について，具体的な資料を通して理解する。 ・九州地方の各地で行われている持続可能な社会を実現するための取り組みについて，環境と開発の両立の視点から考察する。	・北九州市の新旧写真の比較や水俣市のごみ分別の現状から，環境が大きく改善したことを読み取り，両市の環境保全への取り組みを理解している。（**知技**） ・北九州市と水俣市の環境問題に関する共通点と相違点を捉え，持続可能な社会を実現するための取り組みについて考察している。（**思判表**）
	1　中国･四国地方をながめて 自然環境の異なる地域 二つの山地にはさまれた地域 交通・通信網の整備で変わる地域	・中国・四国地方について，人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・中国・四国地方の地域的特色を理解するために，「中国・四国地方では，なぜ交通・通信網が重要な役割を果たしているのでしょうか」という探究課題を立て，見通しをもって主体的に追究する。	・自然環境の異なる三つの地域，盛んな農業，人々の生活や産業を変えた交通・通信網の整備，瀬戸内に集中する人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。（**知技**） ・交通・通信を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。（**態度**）
	2　交通網の整備と人や物の移動の変化 地方内で深まるつながり 地方をこえて広がるつながり ストロー現象	・中国・四国地方の交通網の整備について，地図，写真，統計などの具体的な資料を通して，理解する。 ・中国・四国地方の交通網の発展による地域の影響について，利点と課題の両面から考察する。	・高速道路や橋が整備されたことにより，中国・四国地方内の結び付きや，他地方との結び付きが深まったことを理解している。（**知技**） ・交通網の整備を，移動時間の短縮やストロー現象などと関連付けて考察している。（**思判表**）
	3　交通網が支える産業とその変化 瀬戸内の都市の歴史 海で結ばれた工業地域 全国に出荷される農水産物	・中国・四国地方の人口が瀬戸内の県に集中していることに着目し，その歴史的・地理的背景について理解する。 ・中国・四国地方の産業が交通網の発達とともに成長してきたことを理解する。	・人口が集中する瀬戸内の都市の多くが交通の拠点であった城下町を起源としたことを理解している。（**知技**） ・海上輸送に適した瀬戸内海，橋や高速道路の開通によって工業や農業が発達してきたことを捉えている。（**知技**）
	4　活用される交通･通信網 町おこし・村おこし 橋で変わる島の暮らし インターネットで変わる山間地の暮らし	・中国・四国地方の市町村別人口増減率の地図に着目し，過疎地域の分布の特色を理解する。 ・過疎地域が行っている町おこし・村おこしの成果と課題について，特色ある観光資源や交通・通信網の活用などの	・過疎地域が山間部や瀬戸内海の島々の多くに分布していることをその原因や対策とともに理解している。（**知技**） ・過疎地域の対策について，交通・通信網の整備と関連付けて考察し，表

	世界から地域に来訪，地域から世界に発信	視点から考察する。	現している。（**思判表**）
	1　近畿地方をながめて 近畿地方の地形 南北で大きく異なる気候 中央部に集中する人口	・近畿地方について，地形図や人口分布図などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・近畿地方の地域的特色を理解するために，「近畿地方では，なぜ都市や農村の姿が変化してきたのでしょうか」という探究課題を立て，見通しをもって主体的に追究する。	・南北で大きく異なる地形や気候，盛んな工業や商業，中央部に集中する人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。（**知技**） ・人口や都市・村落を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。（**態度**）
	2　大都市圏の形成と都市の産業 都市の成り立ちと郊外の広がり 大都市の産業の特色 都市の課題と対策	・近畿地方の大都市圏の成り立ちについて，地図や写真などの資料を通して，理解する。 ・大阪湾臨海部の工業の特色を捉え，大都市における工業の課題について考察する。	・大阪市から神戸市にかけての地域は，私鉄によってまちづくりが進んだことを理解し，その知識を身に付けている。（**知技**） ・大都市の工業の特色を，国内外の製品との競争や高い技術力などと関連付けて考察し，表現している。（**思判表**）
	3　ニュータウンの建設と都市の開発 山を切り開いたニュータウン建設 ニュータウンにおける課題 都市の開発と歴史的町並み	・近畿地方の都市の発展や，開発とその課題について，地図や写真などを使って理解する。 ・近畿地方の古都などに見られる伝統的な文化，歴史的な景観の保存と開発について，調和という視点から考察する。	・神戸市などで大規模な開発が行われてきたこととその課題を，地図や写真を使って読み取っている。（**知技**） ・京都市に残っている伝統的な文化や歴史的な景観の保存の意義と課題について，多面的・多角的に考察している。（**思判表**）
	4　変化する農村の暮らし 過疎化が進む地域の課題 特色を生かした山村の取り組み 農産物の価値を高める取り組み	・近畿地方の市町村別人口増減率の地図に着目し，過疎地域の分布の特色を理解する。 ・過疎地域が行っている町おこし・村おこしの成果と課題について，特色ある産業や景観，都市部との交流などの視点から考察する。	・地図を通して過疎地域が都市から離れた山間部や離島に分布していることを理解している。（**知技**） ・過疎地域の対策について，都市部との交流と関連付けて考察し，表現している。（**思判表**）
	1　中部地方をながめて 日本の屋根 三つの気候 特色ある産業	・中部地方について，地形図や統計グラフなどの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・中部地方の地域的特色を理解するために，「中部地方では，なぜ各地に個性豊かな産業が発達しているのでしょうか」という探究課題を立て，見通しをもって主体的に追究する。	・三つに分かれる地域の地形や気候，日本最大の工業生産額とその他の特色ある産業，東海地方に集中する人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。（**知技**） ・産業を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し，見通しをもって主体的に追究し

			ていこうとしている。（態度）
	2　特色ある東海の産業 世界をリードする東海の工業 東海の工業の課題 温暖な気候を生かした農業	・東海で発展した世界をリードする各種の工業について，その変容と国際化にともなう課題の視点から考察する。 ・東海で盛んな農業に関する具体的な資料を通して，各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。	・東海の工業の特色について，交通網や貿易などの社会的条件と関連付けて多面的・多角的に捉え，国際化への対応についても考察している。（思判表） ・東海の農業の特色を，自然の特色や交通の発達などを示す資料と関連付けて読み取っている。（知技）
	3　特色ある中央高地の産業 土地の特色を生かした農業 製糸業から発達した中央高地の工業 観光業と持続可能な地域づくり	・中央高地で盛んな農業や工業に関する具体的な資料を通して，各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。 ・中央高地にある歴史的な家屋や町並みに着目し，観光業を中心とした地域づくりをしていることを理解する。	・中央高地の農業や工業の特色を，自然の特色や交通の発達，戦争との関連などを示す資料と関連付けて読み取っている。（知技） ・宿場町や合掌造り集落を活用して観光業を盛んに行っていることを理解している。（知技）
	4　特色ある北陸の産業 豊富な水を生かした北陸の産業 雪国で育った伝統産業	・北陸で盛んな農業や工業に関する具体的な資料を通して，各地の自然条件と社会的条件に応じて発達してきたことを理解する。 ・北陸の伝統産業や地場産業について，自然条件や歴史的背景などの視点から考察する。	・北陸の農業や工業の特色を，豊富な雪どけ水などを示す資料と関連付けて読み取っている。（知技） ・北陸の伝統産業や地場産業が発展した理由について，冬に雪が多い気候の特色と関連付けて考察し，その過程や結果を表現している。（思判表）
	1　関東地方をながめて 関東地方の地形と気候 関東地方の人口と産業 日本の交通と通信の中心・東京	・関東地方について，人口分布図や統計グラフなどの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・関東地方の地域的特色を理解するために，「関東地方には，なぜほかの地域との強い結び付きが見られるのでしょうか」という探究課題を立て，見通しをもって主体的に追究する。	・山地に囲まれた広大な平野と特色ある気候，日本最大の人口密集地域，日本の交通と通信の中心地などの特色を理解し，その知識を身に付けている。（知技） ・交通・通信を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。（態度）
	2　世界と結び付く東京 日本の中心都市・東京 世界都市・東京 世界への玄関口の関東地方	・東京にさまざまな機能が集中し，日本や世界各地との結び付きが強いことを理解する。 ・関東地方が世界への玄関口となっていることを，モノや人の移動の視点から考察する。	・東京にさまざまな機能が集中している理由を，政治的中枢機能が集中していることと関連付けて捉えている。（知技） ・関東地方と世界との結び付きについて，在留外国人数，大使館の分布などの資料を基に，多面的・多角的に考察し，表現している。（思判表）
	3　東京を生活圏とする人々	・東京大都市圏における都心部と郊外の	・東京の都心部と郊外の関係について，

	の暮らしと交通 東京大都市圏の拡大 通勤・通学圏の広がりと課題 充実した観光産業	人口動態に着目し，その結び付きと課題について考察する。 ・東京大都市圏の観光地に，国内外から多くの人々が訪れることに着目し，交通網と観光産業の関連について理解する。	通勤・通学や都市機能の分散を交通網と関連付けて考察し，表現している。（**思判表**） ・特に外国人観光客の増加について写真やグラフから読み取り，交通網の発達が関連していることを理解している。（**知技**）
	4　関東地方の多様な産業 東京湾岸と北関東の工業地域 大消費地と農業	・関東地方の工業の特色を，臨海部と内陸部の結び付きに着目しながら理解する。 ・関東地方で農業が盛んな理由を，大消費地との結び付きと関連付けて考察する。	・関東地方の農業や工業の特色とその変容について，東京と周辺地域との結び付きや人口分布の変化などに着目して捉えている。（**知技**） ・関東地方の農業地域と大消費地との関連を考察している。（**思判表**）
	1　東北地方をながめて 東北地方の地形と人々 東北地方の気候と人々	・東北地方について，地形図や，写真などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・東北地方の地域的特色を理解するために，「東北地方では，なぜ伝統的な生活・文化を守り，継承する動きが見られるのでしょうか」という探究課題を立て，見通しをもって主体的に追究する。	・山地が多く東西で大きく異なる気候，盛んな農業，鉄道や道路の路線に集中する人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。（**知技**） ・伝統的な生活・文化を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。（**態度**）
	2　祭りや年中行事の伝統とその変化 いましめと祝いの民俗行事 農家の生活と結び付いた夏祭り 気候に応じた食文化	・東北地方の生活・文化について，伝統的な民俗行事の資料を通して理解する。 ・東北地方の伝統行事や習慣を通して，自然環境や歴史的背景，産業などの地域的特色を理解する。	・祭りをはじめとする独特の民俗行事や習慣を示す写真資料を通して，東北地方の生活・文化の特色を理解している。（**知技**） ・伝統行事や食文化，習慣と，農業や気候との関連を通して，東北地方の地域的特色を捉えている。（**知技**）
	3　伝統工芸品の生産･販売とその変化 地域の資源と結び付いた伝統工芸 世界の市場と結び付いた伝統工芸 社会の変化と結び付いたものづくり	・東北地方の伝統産業や地場産業の特色について，自然環境との結び付きから理解する。 ・伝統的な産業が，世界市場や社会の変化と結び付きながら変化し，発展していることを考察する。	・東北地方の伝統産業や地場産業が発展した理由について，自然環境の特色と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。（**知技**） ・東北地方の産業の課題や転換について，時代や社会の動きなどと関連付けて，多面的・多角的に考察している。（**思判表**）
	4　過去の継承と未来に向けた社会づくり	・東北地方でくり返されてきた地震や津波の被害に着目し，被災した人々が残した教訓について理解している。	・東日本大震災の被害の経験について関心を持ち，過去の災害の教訓がどのように生かされているのかを理解

	くり返す地震や津波の被害 教訓を伝え，引きつぐ 新しいまちや社会をつくる	・東北地方の生活・文化と不可分な災害の歴史と教訓を通して，先人の思いや今後の社会の在り方について考察する。	している。（**知技**） ・石碑や伝承などを通して，人々がどのような思いで災害の教訓を受け継ぎ，未来へ向けて生かそうとしてきたのか，多面的・多角的に考察し，表現している。（**思判表**）
	1　北海道地方をながめて 北海道地方の地形と人々 北海道地方の気候と人々	・北海道地方について，地形図，雨温図などの資料から概観し，基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・北海道地方の地域的特色を理解するために，「北海道地方では，なぜたくさんの農産物を出荷したり，観光客をひき付けたりしているのでしょうか」という探究課題を立て，見通しをもって主体的に追究する。	・日本の約 20%をしめる広大な面積，冷帯に属す気候，盛んな農業，少ない人口などの特色を理解し，その知識を身に付けている。（**知技**） ・自然環境を中核とした考察の仕方に基づいて設定した探究課題の答えを予測し，見通しをもって主体的に追究していこうとしている。（**態度**）
	2　自然の制約に適応する人々の工夫 寒さと生きる 火山と生きる 豊かな海のめぐみ	・北海道の厳しい自然環境とそれに対する生活の工夫について，景観写真や模式図などの読み取りを通して理解する。 ・北海道の人々が自然環境をどのように活用しているのか，気候，火山や漁業などの視点から考察する。	・冬の寒さや火山活動による厳しい自然環境に対して，人々がどのような工夫を行っているのかを資料などから適切に読み取っている。（**知技**） ・北海道地方では，冬の寒さや火山，豊かな海を利用した産業が行われていることを多面的・多角的に考察し，表現している。（**思判表**）
	3　自然の制約や社会の変化を乗りこえる 拡大する稲作地域 大規模化する畑作や酪農 国際競争と地産地消	・北海道地方の厳しい自然環境の中で，人々がどのような工夫や努力を行って農業を営んできたのかを捉え，理解する。 ・今後の北海道地方の農業の在り方について，国際競争と地産地消の視点から考察する。	・農業に適さない気候や土壌の問題に対して，人々がどのように対応し，乗りこえて農業を営んできたか理解し，その知識を身に付けている。（**知技**） ・現在，北海道の人々が直面している課題に対して，どのように対応すべきかを多面的・多角的に考察している。（**思判表**）
	4　自然の特色を生かした産業 地域の資源を活用する製造業 世界とつながる観光業 地域の発展と環境保全の両立	・北海道地方の観光業に着目し，冷涼な気候は各地から観光客をひきつけていることを理解する。 ・北海道地方の観光客の増加について，地域の発展と環境保全の視点から考察する。	・気候の特色によって，北海道地方への観光客が 8 月に多いことを理解している。（**知技**） ・北海道地方の観光業について，広がるエコツーリズムなどの持続可能な社会づくりと関連付けて考察し，表現している。（**思判表**）
	1　身近な地域の課題を見つ	・身近な地域の課題を，学習した「世界	・身近な地域の課題を，SDGs のゴール

	ける 地球規模の課題と SDGs 日本の地域的な課題	や日本のさまざまな地域」に見られた課題を参考にして，SDGs のゴール 11「住み続けられるまちづくりを」の視点から見つける。 ・身近な地域の課題を，「世界や日本のさまざまな地域」に見られた課題と比較し，見通しをもって主体的に追究する。	11「住み続けられるまちづくりを」と結び付けて理解し，見出している。**（知技）** ・身近な地域を，住みやすく，よりよいまちにするための課題を予測し，その解決へ向けて見通しをもって主体的に追究していこうとしている。**（態度）**
	2　課題を調査する どこで起こっているか どのように起こったか 中心市街地の課題 郊外の課題	・身近な地域の課題が，どこでどのように起こっているかを，位置や分布に注目して捉える。 ・身近な地域の課題が，どのような経緯で起こってきたかを，地域の移り変わりに注目して多面的・多角的に考察する。	・学習した「地域調査の手法」を基に，身近な地域の野外観察や統計資料の調査，新旧の景観写真や地形図の読み取りなどを適切に行っている。**（知技）** ・調査に基づき，地域の課題の現れ方やその経緯について，多面的・多角的に考察している。　**（思判表）**
	3　要因を考察する 課題の要因を考察する 課題の影響を考察する 中心市街地の課題の要因と影響 高齢化の要因と影響 **4　解決策を構想する** 他地域の取り組みを調べる 地域の課題に合わせて考える 金沢市の中心市街地活性化 高齢化への対応策 **5　地域の将来像を提案する** 解決策を提案する方法 根拠や立場を明確にする 解決策の内容をしぼりこむ 解決策を提案する	・地域の課題の要因やその影響について，地域内外の結び付きや地域の変容に着目し，考察する。 ・身近な地域の課題の解決策を，類似の課題が見られる他地域との比較，関連付けを通して理解する。 ・地域に見られる課題の解決に向けて考察，構想したことを整理し，地図や図表，プレゼンテーションソフトや企画書などにまとめて発表する。 ・地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，具体的な解決策として表現する。 ・地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする。	・身近な地域の課題は，なぜ生まれ，地域にどのような影響をあたえているのかを，多面的・多角的に考察している。**（思判表）** ・地域の課題の要因やその影響について，図表などを用いて適切に整理している。**（知技）** ・他地域の課題などの実態や課題解決のための取り組みを理解している。**（知技）** ・同じような課題に直面している他地域の取り組み事例を調査し，そのメリットとデメリットを評価し，地域の課題の解決策の参考にしている。**（思判表）** ・地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解している。**（知技）** ・地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。**（思判表）** ・単元冒頭に立てた身近な地域の課題やその解決策の予測をはじめとする

			自らの学習を振り返りながら，地域の在り方について，よりよい社会の実現を視野に粘り強く考察し，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。（**態度**）